

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・各店の来客数が増えている。購買意欲が出てきている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博の特需に支えられて、宿泊、宴会、レストランとすべての部門で好調である。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・中部国際空港開港の影響で海外客が増えている。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・愛知万博等の影響で街の雰囲気は良くなっている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・2月末から3月にかけて上向きだったが、3月下旬の愛知万博の開催により一段と販売量は上がっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・中部国際空港開港や愛知万博開催の波及効果がある。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・販売量は明らかに増えている。
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・春物の動きはそれほど良くないが、来客数は前年比増で推移している。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は横ばいであるが、客単価は1.8%上昇している。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・愛知万博が3月25日に開幕し、他県や外国からの観光客、関係者等の流入で購買客層は少しずつ増加している。また、愛知万博関連グッズも動き始めている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・景気改善の兆候がみられる。愛知万博関連の特需も若干ある。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・3月は例年春物のピークだが、今年は動きが悪かった。ただし、今月投入の夏物商材の動きが良い。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・近隣の企業団地からグループ客が多く来て、高単価品を注文し食後も飲物を注文するので、客単価の上昇につながっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・送別会に加えて愛知万博の影響で関東、関西からの客が増え、来客数が伸びている。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・季節的な要因に愛知万博、中部国際空港の動きが加わり、来客数は伸びている。		
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・大宴会、婚礼、レストランは若干弱い、宿泊は愛知万博の効果で稼働、単価とも大幅に良くなっている。		
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・中部国際空港が開港した影響で、非常に好調な売行きである。しかし、周辺の量販店では売上が前年を大きく下回っているところがある。パイが増えたわけではなく、目新しい売店に客が移動した影響である。	
	商店街（代表者）	単価の動き	・今年の年度末はあまり忙しくない。取引先でも同様な状況である。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・卒業式などに贈る花の売行きが少しずつながら年々減っている。	
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・3月半ばごろからの低温と風雨による天候不順で、来街者は目立って減少している。大手デパート開店の影響もあり、売上は伸びていない。ただし、来店した客はそこそこの買物をしており、天候不順による一時的な落ち込みである。	
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・東濃地方では、近隣の愛知万博、花フェスタなどの大型イベント開催や超大型アウトレットの開業、デパートの新館開業などの影響で、土、日は店内が閑散状態である。特に地元ファッション店は青色吐息で、ゴールデンウィークに向けて低迷が続く。	
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客は数店舗以上を買い回り、比較しながら買物している。他店と当店のバランスは非常に微妙なようで、結果は毎月違っている。	
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・景気は踊り場が続いている。動きにメリハリがない。	
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・月初めは紳士靴の新作が入荷し来店も好調であったが、名古屋の中心部に大型店が開店したところから来客数が減り、それに伴い売上も減少している。	

百貨店（売場主任）	お客様の様子	・冬のような寒さが続いており、春物の動きが悪い。春物の購入に訪れる客も、試着してもあまり購買意欲がわかない様子である。
百貨店（外商担当）	お客様の様子	・前月に続き来客数が減少し、それに伴い売上も下回っている。しかし、外商は商談会への集客、売上、訪問販売のいずれも感触が良い。
スーパー（店長）	お客様の様子	・寒い日が多く、春物衣料の動きが大変鈍い。 ・月末に特価セールを実施したが、販売量はその時だけ増えている。必需品以外は購入せず価格に敏感な傾向は変わっていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年の96%前後と相変わらず低迷している。競合店との低価格格戦で、単価向上は難しい。
スーパー（店長）	お客様の様子	・以前は実施しなかったセールをここ3か月は毎週行っているが、客は慎重で、売上は全体的に伸び悩んでいる。
スーパー（店員）	単価の動き	・セールを仕掛けても客は低単価品にしか反応せず、買上点数も少ない。
スーパー（店員）	販売量の動き	・平日はまずまずであるが、土曜、日曜の売上がかなり落ち込んでいる。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は若干の低下傾向が続いているが、来客数は少し増加している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・厳しい競合状態は依然として継続している。対前年比売上も厳しい状況が続いている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・目当て商品の購入が多く、衝動買いがない。
コンビニ（売場担当）	単価の動き	・愛知万博の影響で隣接地域の店舗売上は増加しているが、それ以外の既存店の売上は平行線である。
乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・新車の販売台数は好調であるが、整備工場への入庫がかなり落ち込んでいる。特に車検は、車検料金だけで判断しない客は当社へ入庫してくれているが、そうでない客は他社の格安車検に奪われている。結果的に、薄利で売上も減少し、思うような利益は確保できていない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月は最需要月であるが、残念ながら前年実績を下回っている。特に月後半は受注台数が急落している。 ・販売車の車種構成をみると、小型車、RV車を中心に単価の低下による利幅縮小傾向が続いており、利益確保は相変わらず困難である。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・低価格商品の動きはやや良いが、全体としてはあまり変わらない。
自動車備品販売店（経営者）	それ以外	・カー用品店では、消耗品に特化した品ぞろえの小型店、品ぞろえが豊富な大型店は消耗品需要で順調であるが、中型店では品ぞろえが問題なのか良くない。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・建設業界では公共工事、民間設備投資、一般住宅ともに価格競争が激化しており、厳しい状況である。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価来客数ともあまり変化はない。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博開催の波及効果は、期待していたほどではない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・雨の日が多いなど天候不順が続き、客足は遠のいている。花粉症の客が飲酒を控えているのも影響している。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・送別会の時期であるが、大人数が無くなり、少人数になっている。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・中部国際空港、愛知万博に加えて新規商業施設が次々誕生しているが、客の流れは総じて芳しくない。旅行需要も愛知万博に向かっていようので、例年より良くない。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・建設業を中心に中小企業は業績が芳しくない様子で、社員旅行や下請け、取引先の招待旅行の復活は期待出来ない。また、昨年まで続けていた旅行も中止になっている。弊社の取扱も横ばいである。
旅行代理店（従業員）	単価の動き	・中部国際空港の開港で飛行機利用の旅行が増加しているが、低料金の商品しか売れていないのが現状である。

	タクシー運転手	来客数の動き	・送別会シーズンであるが、昨年とほとんど変化がない。愛知万博の開催により街中で外国人の団体も見かけるが、タクシーの売上には関係がない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・土曜日など愛知万博の影響か入出があるが、タクシーの売上には影響がない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・愛知万博の内覧会ではタクシー利用が多かったが、開幕以降は悪天候のためか期待外れとなっている。
	通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・商品の値引状態が続いているため、利益は減少傾向にある。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・大きな変化はないが、来場者数は全般的に若干の減少傾向である。
	テーマパーク（総務担当）	来客数の動き	・来場者数、園内の売上とも伸びていない。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月は予想以上の来場者数であるが、優待券での入場も多く売上は予算通りに終わっている。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数はあまり変化していない。
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・今月はキャンペーンを実施していないため、売上は減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数はあるが、来店周期は長くなっている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・暖かくなり来客数は増えているが、客単価は低く販売量も減少している。客は相変わらず必要品以外は買わない傾向で、購入商品も低単価商品である。
	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・愛知万博等の開催で来客数の増加を期待していたが、逆に愛知万博、中部国際空港や新規開業の商業施設に客が流れる結果となり、当店では来客数減となっている。さらに、気温がなかなか上昇しないため、婦人服、雑貨の春物商材の売上が非常に低迷している。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・気温が低く、春物の動きが停滞している。愛知万博の開幕が来客数の増加につながっておらず、苦戦している。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・客の買上品数は減少してきている。今まで以上に慎重な買物をしている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上、販売量、来客数とも、今年に入ってから3か月間連続で前年同月を下回っている。特に3月は10%前後減少している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は減少し、客単価も低く、低迷が続いている。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・3月期の売上も良くない。客の様子を見ても、チラシ商品を購入し定番商品はあまり売れない。客は非常に慎重になっている。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・既存店では販売量、来客数が悪い状態が継続している。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・1～2月は来客数も多く好調であったが、その反動からか今月は来客数が減少し、販売台数も伸び悩んだ。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・例年年度末は活発な動きがあるが、今年は動きが上下にかなり偏っている。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・年末年始は活気があったが、今月中旬を過ぎてから、急激に落ち込んでいる。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・例年3月は繁忙期なのに、売れていない。買い替え時期が来ている客でも購入を渋っている。
	その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・今までにない悪い月であり、同業者も同様の意見である。原因が分からず困惑している。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・中部国際空港開港、愛知万博開幕と続いている割には、今ひとつ伸び悩んでいる。
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・併営のホテルでは、昨年は浜名湖花博の影響でかなり良かったが、その反動もありかなり宿泊数が減少してきている。会食、婚礼も横ばいもしくは減少傾向である。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来場者数が減少している。

		ゴルフ場（営業担当）	販売量の動き	・民事再生法、会社更生法を申請するゴルフ場が増加しているため、会員権が買い控えられており、契約件数が減少している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。客の会話でも、良い話は聞かれない。
		設計事務所（営業担当）	競争相手の様子	・厳しい状況が続いており、大手の同業者も倒産している。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・低価格物件にしか問い合わせが来ない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・共同住宅の受注が悪化している。
		住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・毎月決まった量の広告を入れているが、客の反響は悪い。
	悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・大手スーパーの攻勢が続いている。当店は自転車販売であるが、最近では食品専門スーパーにも自転車売場が現れている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・今年に入ってから荷動きが全く鈍かったため3月には多少期待していたが、期待外れである。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもはますます硬くなっている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・暖かい日が少なく、来客数、売上とも前年比で1割減少している。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・従来は週末、祝日は個人客、家族客を中心に堅調であったが、最近は平日、週末、祝日のすべてで低調である。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・厳しい状況は変わらず、近所の同業者も3人ほど店をたたむ決心をした。本当に厳しい。
企業動向関連	良くなっている	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注は好調で、売上も順調に伸びている。
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも前年比105%となっている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラックの荷動きはかなり良くなっている。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・中部国際空港の開港、愛知万博の開幕により、人、物、カネの動きが活発化している。
		広告代理店（経理担当者）	取引先の様子	・顧客企業は量的拡大を図ってきており、動き始めた感がある。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・確定申告が終わり報酬請求をしているが、顧客からの入金はや早い。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・相変わらずの繁忙状態で、高額設備も正式に実施と決まりますます忙しい。ライバル企業も相変わらず忙しい状態が続いており、新製品をどんどん世の中に問う企業は好調である。
	変わらない	印刷業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・前期あった仕事が今期は無くなるなど、仕事量が減少している。
		化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・販売量、販売価格とも変化はない。
		鉄鋼業（経営者）	取引先の様子	・素材単価は高騰しているが製品単価は上がっておらず、中堅企業にしわ寄せがきている可能性もある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・目立った変化はないが、やはり厳しいものがある。単価は低下する一方である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・映写機関連の国内売上は、3か月前と比べると増加している。しかし、文教関係からの受注が以前の年度末集中型から分散し、売上自体も減少したため、前年度比ではマイナスとなっている。 ・監視カメラ関連では、価格競争は以前より厳しいが、大型案件があり売上、販売台数とも増加している。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大手縫製企業からの受注はこのところ持ち直しているが、中小の取引先からは著しく減少しており、両極に分かれている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・年度末であるが、受注単価の厳しい状況は変わらない。

	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・1月に商いが少なかった反動で、2月から3月にかけては受注価格、販売価格にかなりの動きがあった。しかし、3月後半からその勢いが少し落ちている。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・これまでの勢いが収まりつつある。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・法人の移転を数多く手がけているが、今年は移転時期が2週間程度の短期集中となっている。企業では経費の絞り込みが進んでいるため、個々の移転単価も低い。	
	金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大きな契約があるかと思うと解約の話が出たりと、どちらともいえない動きである。愛知県は愛知万博の影響で元気ではあるが、他方で二極化も進んでいる。	
	公認会計士	それ以外	・顧問先の業況をみると、愛知万博関連、地元大手自動車メーカー関連以外の中小企業では、4月の昇給や新規採用も最低限である。一方、地価上昇の気配があるため、経営者マインドも少し低調である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・中部国際空港の開港、愛知万博の開幕により、愛知県内の関連業者はまずまずの好況が伺える。しかし、周辺の地方都市では繊維など地場産業の企業が相次いで廃業、倒産しており、必ずしも好況とはいえない。	
やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事の引き合いがあっても、価格が低いため足の踏んでいる。原材料価格の値上げ圧力もさらに高まっている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格の高止まりによるコスト増によって投資メリットが薄れるとの顧客の判断から、販売価格の値下げを受け入れざるをえない。その一方で、納入業者からは、原材料の値上げ攻勢を受けている。	
	電気機械器具製造業（従業員）	取引先の様子	・下請企業の中には仕事量が減少して困っているところが増加している。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	それ以外	・鋼材の価格上昇分が売値に反映されないため、利益面で厳しい局面が続いている。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主力取引先の業況回復が進まないため、受注量が減少し、単価の引下げ要請も厳しく、採算確保が難しくなっている。	
	建設業（経営者）	取引先の様子	・取引先の設備投資をみていると、前向きではないように見受けられる。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3月は通常荷動きが活発な月であるが、今年は例年に比べて工業製品、一般雑貨などの出荷量が減少している。また、出荷時期も年々月末近くにずれ込んでおり、1回当たりの出荷量のロットも小さくなっている。	
	経営コンサルタント	それ以外	・宅地開発の動きをみていると、依然として中小では手が出しにくい状況である。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今期の売上は前年同期比4.8%の減収、経常利益は同74.2%の増益となった。増益の主要因は修繕費、消耗品費や定年退職に伴う人件費の減少など工場経費の削減にあり、減収のほうに懸念される。	
	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格が高騰しているが、販売価格を値上げできない状況が続いている。	
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新規、追加ともに注文は前月に続き順調に増加している。特に愛知万博、中部国際空港関連の派遣需要が引き続き活発である。
		職業安定所（所長）	周辺企業の様子	・年度末で今期の営業利益を上げるため、各企業とも増産傾向にあり、人手確保に躍起になっている。愛知万博とともに人手の確保が難しくなっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・求職者数、採用内定者数、転職者数とも伸びている。転職者の採用内定時に現職企業が退職を強く引き留めるケースも目立っている。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、求人数は2割程度増加している。ただし、正社員の代替などもある。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パート、アルバイト、請負業等を中心に、3か月前と同様に求人数は増加している。	

	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人広告件数の伸び率は3か月前と同等で、右肩上がりが続いている。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数は前年同月比で派遣、請負求人を主に増加傾向にある。ただし、就職者数は増減を繰り返している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前に比べて月間有効求人数は0.9%増加し、月間有効就職者数は3.3%減少しているため、管内の有効求人倍率は0.06ポイント上昇の1.36倍である。前月比では0.02ポイント低下している。 ・前年同期比の求人状況は、製造業、卸小売業、建設業がそれぞれ18.7%、22.4%、8.2%増加しているが、運輸通信業で29%、サービス業で11.5%減少しているため、全体では0.4%減少している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は依然として増加傾向にあるが、内容的には派遣、請負求人が大半である。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・就職者数が減少し求人数も増加しているが、就職件数は伸びていない。求人側には採用条件を緩和するといった柔軟性がみられない。就職者側も希望職種へのこだわりが強い。
	職業安定所（管理部門担当）	就職者数の動き	・新規求職件数は前年同月比で減少傾向が続いている。有効求人倍率は今後も1倍を超えると予想される。
やや悪くなっている			
悪くなっている	-	-	-